

京都府の補助金を活用した労働関連法教育 ― ラポール学園の冬の公開講座として開催

「就職活動について考える」4人の学生に8つの質問

東西学生就活サミット

～立場を超えて語り合おう

| 参 | 加 | 費 | 無 | 料 |

- 今や大学生の大多数が職業人としてのキャリア選択に際し、「就活」は最初のハードルでもあります。1990年代のバブル経済崩壊以降、「就活」をめぐる状況は、学生にとって「不安と困難」がつきまとったままです。それだけに彼らの「就職」は、それが単に学生だけが抱えている問題ではなく、保護者は勿論のこと企業の求人担当者、ハローワークなどの行政機関や大学のキャリアセンターなど「就職」に関わる様々な立場の人たちの課題となっています。
- そこで今回は、そのように立場の異なる人たちが一堂に会し、同志社大学と法政大学から就活を終えた4年生と、これから就活に臨む3年生の4人の大学生に「就活」に伴うホンネなど生の声を聞きながら会場の参加者を交えた意見交換を行います。

第1部

トークセッションでは、①NPO法人あったかサポートが2013年度の労働関連法教育の出前授業(ラポール学園の委託事業)に際して実施した調査・分析の結果、②ジェンダー経済学の視点から見た「就活」の現状について、それぞれお二人の研究者に報告をして頂きます。また登壇を頂く4人の大学生には、例えば「インターンシップやアルバイトを含む大学での学びが就活に活かされているか」「就活のために参考にしたこと」など8つの質問を事前に行い、その回答・意見を報告して頂きます。

第2部

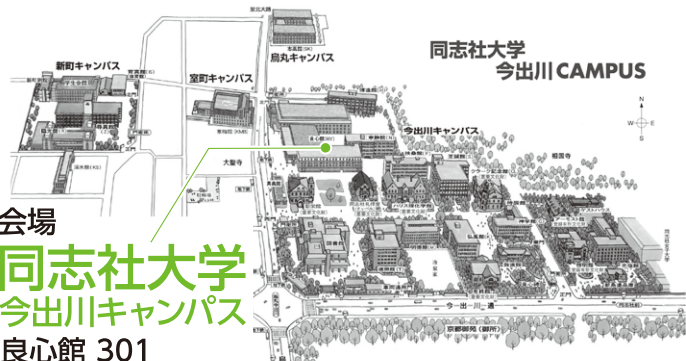
会場からは、休憩時間中にペーパーによる質問を受け付けます。6人の登壇者が回答・コメントを行います。また同一の課題や問題に対して、会場からの発言を交え異なった立場から様々に意見交換を行います。

2014年

日時

12月13日[土]

午後1時30分～午後5時15分(開場・午後1時)



会場

同志社大学
今出川キャンパス
良心館 301対象：学生とその保護者、就労支援従事者、
求人募集従事者(経営者)主催：ラポール学園(公益社団法人京都勤労者学園)
特定非営利活動法人あったかサポート

協力：京都府商工労働観光部 労働・雇用政策課

後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、NHK京都放送局、KBS京都、京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞社京都支局、読売新聞京都総局、日本経済新聞社京都支社、産経新聞社京都総局、特定非営利活動法人きょうとNPOセンター、京都市ユースサービス協会、日本労働組合総連合会京都府連合会、京都地方労働組合総評議会、京都弁護士会、京都司法書士会、京都府社会保険労務士会、京都経営者協会、京都経済同友会、京都商工会議所、同志社大学、立命館大学、龍谷大学、京都産業大学、大谷大学、佛教大学、花園大学、京都女子大学、京都光華女子大学

報告



筒井 美紀

法政大学
キャリアデザイン学部
准教授

川口 章

同志社大学
政策学部教授登壇者/法政大学・4年生、3年生
同志社大学・4年生、3年生コーディネーター/笹尾 達朗 (NPO法人あったかサポート)
常務理事

総司会/杉原 純子 (NPO法人あったかサポート)

申込み・お問合せ先

事前に下記の方法で氏名、連絡先(住所又は電話番号、FAX、E-mailアドレス等)をメール又はFAXにてご連絡ください。【先着順】

NPO法人あったかサポート

TEL 075-352-2640

FAX 075-352-2646

e-mail ▶attaka-support@r6.dion.ne.jp